

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第222号

発行所
京都市中京区壬生山念町30-2 ラボール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

1	8月19日(日)	戦争法廃止！街頭演説・デモ 16:30	京都市役所前
	8月20日(月)	争議支援宣伝 18:00	四条烏丸
	8月22日(水)	消費税・社会保障宣伝 18:00	四条烏丸
	8月23日(木)	9条改憲許すな！安倍政権退場！決起集会 18:30	キャンパスプラザ

主な日程

8時間働けばまとも暮らしらせる 社会をめざして！

第86回定期大会を成功させよう

京都総評は、9月2日(日)に京都教育文化センターで第86回定期大会を開催します。眞上げ・要求実現のたたかい、「働き方改革関連法案」阻止のたたかい、改憲阻止に向けた3000万署名の取り組み、府知事選挙の活動など激動の一年の活動を振り返り、成果と教訓を共有し、運動方針を確立する大会です。

今大会の意義、運動方針案の重点などについて、池田事務局長に聞きました。



池田和弘 事務局長に聞く

このせめぎ合いの情勢です。いま、賃金・労働条件の改善、社会保障の充実、平和を守る課題など、どの問題をとっても、安倍内閣との正面対決は避けられません。第86回定期大会の役割は、府民の中へ打って出て、労働者の団結と連帯、市民との共同の力で、安倍政権の暴走政治ストップ、政権の打倒をめざす方針を確立することです。

改憲阻止、憲法を生かす大運動を

安倍内閣は、臨時国会で

せめぎ合いの情勢の中で開催される86回大会

第86回定期大会は、改憲を掲げて暴走政治を進めてきた安倍政権が、その裏で政治を私物化してきたことが明らかになり、窮地に追い込まれた中で開催となりました。

半年にも及んだ第196回通常国会で、安倍内閣は国民の反対を押し切り、審議を尽くさないままに、「残業代ゼロ」「過労死合法化」を含んだ働き方改革関連一括法や、カシンの解禁を含むIR実施法を成立させ、5兆円を超える軍事費膨張の一方で、社会保障費を大

幅に削減する2018年度予算を成立させました。

しかし、通常国会の最大の目玉とされた憲法改正の発議は、国民の反対運動の広がりの中、与党の足並みがそろわず提案すらできません。

現局面は、改憲をはじめとする立憲主義破壊と悪政に血道をあげる安倍内閣と、市民と野党の共闘を軸とする労働者・国民の運動

の改憲発議、2020年度での9条改憲をあきらめたわけではありません。

2018年度の重点課題の第1は、憲法改悪阻止、憲法を守り生かすことを求めて、一大府民運動を展開することです。そのため、「安倍9条改憲NO」全国市民アクション京都」に結果して、全国3000万署名に引き続き取り組んでいきます。

まともな生活めざし、最賃の大幅な引き上げで、賃金の底上げを

第2は「8時間は働けば、まとも暮らしができる賃金」をめざし、職場と地域で運動を広げることです。すでに職場では、高度プロフェッショナル制度の導入が話題に上っています。また、残業時間規制をめぐって、36協定での残業時間延長が企業側から持ち込まれる可能性が高くなっています。

高度プロフェッショナル制度などの廃止を求めていくとともに、働き方改革関連法を職場に持ち込ませず、労働協約や36協定を見直し、残業時間の短縮、直接雇用・フルタイム労働・均等待遇など、人間らしく働くルールの確立を求めていきます。また最低賃金の大幅引き上げなど、賃金の



最賃1500円めざして、うちわ宣伝

重点課題の第3は、組合員の生活実態調査と公契約実態調査の二つの調査活動を成功させ、地域経済活性化に向けたシンポジウムを開催することです。この活動を通じて、最低賃金の大幅な引き上げ、公契約条例制定の世論化をめざします。

二つの調査とひとつのシンポジウムの成功を

最低賃金の大幅な引き上げをめざし、合意を広げていくうえでも、職場で「まとも暮らし」を考えていくうえでも、組合員の生活実態を正確に明らかにすることが必要です。

また、地方自治体でのアウトソーシングが猛烈な勢いで進行している中で、地方自治体が行う契約（公契約）が適正に行われていないため、ワーキングプアが生み出されている事例が発生しています。

権利としての社会保障を取り戻すたたかいは

第4は、安倍内閣が憲法25条に反して、社会保障に対する責任を放棄している中で、医療や介護、年金の改悪、社会保障の市場化に反対し、権利としての社会保障を取り戻す大運動に取り組むことです。

京都府をはじめとする地方自治体に対して、地方自治法第1条に規定されるように、「住民の福祉の増進を図ることを基本」とすることを求める要求運動を強めていきます。

同時に、奨学金が、今や教育ローンと化し、社会に出たとたんに多額の借金を背負う労働者が増え、少ない労働者が、ブラック

京都総評第86回定期大会

とき 9月2日(日) 午前10時開会
ところ 京都教育文化センターホール



「数は力」組織拡大・強化3カ年計画の実践を

要求実現の最大の力は、「数の力」です。重点課題の5番目は、京都総評「組織拡大・強化3カ年計画」の実践で、すべての単産・地区労協が組合員の増勢を勝ち取ることです。

改正労働契約法による、派遣労働者の雇止めを許さず、労働契約法18条に基づく無期雇用への転換も活用して、有期雇用、非正規雇用労働者の組織化をめざします。

単産・地区労協で議案討議を行い、大会討論でさらに深めていくことを呼びかけます。

7月豪雨災害 被災自治体に義援金届ける



福知山市長と懇談

7月豪雨災害は、避難所に多くの住民が身を寄せ、13府県で2000人を超える住民が亡くなるなど、大きな被害となりました。

京都総評は、義援金を呼びかけるとともに、各労組が相次いでボランティアに取り組んできました。同時に

福知山市の大橋市長は、ボランティアへのお礼とともに、「5年に4度の水害だ。計画的整備はしていたが、由良川が警戒水位を越えると、内水の排水ができなくなる。国が由良川の浚渫などをする中、自治体が必要」など、国と自治体双方の課題を強調。

綾部市の山崎市長は、被害を出したことへの痛恨の



福知山市長に義援金手渡す

思いとともに、「初のボランティアセンター立ち上げ、多くの皆さんに頭が下がる思い」と述べ、中山間地域での治水や林業など、これからいかにこの災害に、やり直していくと述べました。

災害支援カンパにご協力をお願いします

福知山市長と懇談

福知山市の大橋市長は、7月16日、大橋一夫・福知山市長に、7月24日には山崎善也・綾部市長に、梶川議長が相次いで災害義援金を届けました。

許すな改憲！ 守って生かそう 憲法を！



最賃引き上げをアピール

派遣労働者の雇止めを許さず、労働契約法18条に基づく無期雇用への転換も活用して、有期雇用、非正規雇用労働者の組織化をめざします。

単産・地区労協で議案討議を行い、大会討論でさらに深めていくことを呼びかけます。

TUBUYAKI

森友学園 への国有地売却をめぐる公文書改ざん、交渉記録の廃棄など、民主主義の原則が問われる事態が起っています。

年金記録の紛失や業務エイズ問題など公文書管理が軽んじられてきました。行政が、都合の悪いことは残したくないと、国民のためよりも自分たちに都合のいいように記録を扱ってきたのです。公文書管理法が作られるとき、罰則はつくらないことになりました。それは、厳しくやりすぎる、最初からそうした文書を作らなくなってしまふことが心配されたからです。

公文書の管理は厳罰化ではなく、モラルを大切にすることで、行政への不当な政治的要求や圧力を排除すべきです。公務員が「違うんじゃないですか」「記録に残りますよ」と言うことで、政治家がむちゃこぼしを言えなくなります。公務員労働者の仕事ぶり、国民・住民の方を向いて仕事をすすめるのか、上司の意向どおりに仕事をすすめるのかが問われています。教職員で言えば、「国家のための教育」でなく、「国民のための教育」「主権者を育てる教育」ということになりま

自分の仕事に誇りを持ち、退職後も胸を張って生きていける仕事をするのが、当たり前前の国であってほしいと思います。

Xバンドレーダー運用停止、撤廃に向けて 停波「拒否」問題を問う

拡張されていく米軍基地



Xバンドレーダー運用停止・撤廃へ世論を喚起しよう

京丹後市経ヶ岬の米軍Xバンドレーダー基地が、運用開始されて3年半たちました。この間、米軍基地の危険な実態を指摘してきました。それは、第一に米軍戦略の眼であるレーダー基地は真っ先に標的にされる

危険、第二に米軍基地が府民生活佐野野間近にある危険、第三に米軍基地は増殖し続ける危険です。今回のドクターヘリ問題が、四つ目の危険を浮き彫りにしました。米軍基地はアメリカのための施設であり、国民・京都府民は二の次、三の次です。アメリカの軍事と京都府民の利益が対立したとき、アメリカの軍事が優先され、府民の命と暮らしを守ることは両立しません。

「米軍基地いらない府民の会」緊急報告会

5月15日、ドクターヘリ飛行のためのXバンドレーダー停波要請を米軍が拒否する重大問題が発生しました。

「米軍基地いらない府民の会」は、緊急に京都府への要請を行い、7月12日に緊急報告会を開催しました。

報告会では、「府民の会」共同代表の梶川京都総評議長があいさつし、事務局長の片岡明さんから経過報告が行われ運用停止撤廃に向けた世論を大きくしていく運動をすすめることが呼びかけられました。

大きくしていくことが重要です。

米軍にはレーダーを停波しない事情があったのでは

ドクターヘリ問題から米軍基地の本質が、明らかになってきました。

「経ヶ岬通信所」と言われるXバンドレーダー基地

は、アメリカのミサイル防衛体制・ネットワークの一つです。自衛隊のイージス艦やPAC3、在韓米軍のPAC3やTHAADなどもつながっています。

アメリカ本土に向けて飛翔するミサイルの追跡・識別などが目的という重要な位置にあり、いつ何時飛んでくるか分からないミサイルを

キャッチするのが使命だから、電波の発信を止めることは基本的にはあり得ないのです。

米朝首脳会談に向けて4月ごろから水面下で交渉が続けられていましたが、北朝鮮は、米韓合同軍事演習に核搭載可能なアメリカ戦

8時間働いて普通に暮らせる社会の実現を！

全労連第29回定期大会

7月26日から28日、全労連第29回定期大会が行われ、京都総評から9人の代表者が参加しました。



あいさつする小田川議長

小田川議長はあいさつで、「激動の情勢のもと攻勢的になたかった貴重な成果、教訓を全体で共有し、結成30周年を迎える次の2年間のたたかいを飛躍的に発展させよう」と訴え、「『残業代ゼロ』制度の廃止をめざし、職場

に持ち込ませない運動。9条改憲に手を付けさせない世論と運動。全国一律最賃制度の実現や公契約条例強化。次の1年で純増に転じ、150万全労連をめざす組織拡大運動。政治を変えたいをすすめる、沖縄知事選挙勝利へ全国の方の結果」の5点を強調しました。

橋口事務局長代行が、「ストップ安倍改憲！憲法を守りいかそう！8時間働いて普通に暮らせる社会の実現を！すべての労働者を視野に組織と運動を前進させ、未来を切り拓こう！」をスローガンにした2018～19年度運動方針案を提案し、全会一致で議案が採択され、新役員が選出された。



米軍Xバンドレーダー基地

るとクレームをつけ、北朝鮮メディアが明らかにしたのがちょうど5月15日です。結局B52は演習に参加せず、首脳会談は開催されました。レーダーは軍事だけでなく、政治的動向も含めて運用されますから、今回の米朝をめぐる動向も監視を続ける必要があった。すなわち、電波を止めることは片時もできなかったのではないかと推測せざるを得ません。



最賃今すぐ1000円に

最賃屋デモ・労働局要請

「最賃、今すぐ1000円、めざせ1500円」をかかげて20日、7818人分の個人請願署名を京都府労働局に提出、60人がデモを行いアピールしました。

梶川議長は、「最賃引き上げは政治の責任。毎年3%程度の引き上げでは、時給1000円実現は2023年と遅すぎる。早急に引き上げを」と強調。青年部長の北村敦子さんは、「通常でも余裕がないが、今回は大阪北部地震があり、備前品を買ったらオーバーした」と、厳しい実態を述べました。

鳥丸通りのデモでは、「ワーキングプアをなくそう」「時給は1500円に」と元気よくコールしました。

経ヶ岬レーダー基地に、新たに監視塔と防護壁を設置する問題が起こっています。それが攻撃目標にされやすい基地だという証であり、重大性と危険性が増しています。軍事基地そのものが危険と隣り合わせだといふことの証左です。



すべての勝利解決めざして

争議支援ビーパーティ

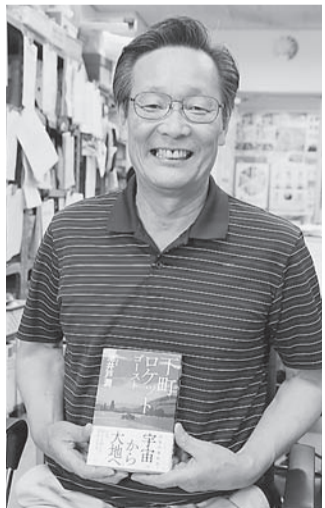
争議をたたかう仲間を励まし、すべての争議の勝利解決めざし、団結と交流を深めるビーパーティが35人の参加で行われました。

梶川議長のあいさつのもと、議長から争議支援カンパの配分金を各争議団・争議組合へ手渡しました。争議団からたかひの現状と支援の訴えがあり、参加者から激励と勝利に向けてともにたたかう決意が語られました。

最後に、山本副議長に音頭で団結カンパローを行い、すべての争議の勝利に向けて決意を固められました。

わたしの本 『下町ロケット ゴースト』

J-MITU 京滋地本 執行委員長 山本善五郎



3年ぶりに、ドラマ「下町ロケット」が10月にテレビに帰ってくる。その原作本の「下町ロケット ゴースト」が7月25日に発売された。大企業・帝国重工との壮絶なたたかいを展開した町工場・佃製作所その後を描いている。ご存じのように作家は、直木賞受賞作家の池井戸潤である。

撃に對して、労使共同で裁判闘争を争った経験がある。三菱が加工技術における「包括的特許」を申請したことに対し、この特許は違法であり、こんな特許が認められる値引き攻勢に對抗して、新たな技術開発に挑戦する物語です。ぜひ、原作をまっすぐ読んでいただきたい。

書名・下町ロケット ゴースト
出版社・小学館
著者・池井戸潤
定価・1500円＋税